

核医学検査技術学実習

実習2

注射針、バイアルの取扱い

注射針、バイアルの取扱いは、
テクネシウムジェネレータの取扱い、
各種放射性薬剤の標識に
必要な手技なので
習熟して下さい。

1

用意するもの

5ml、2.5ml、1ml 注射器

5ml 空バイアル、10ml 生食入りバイアル

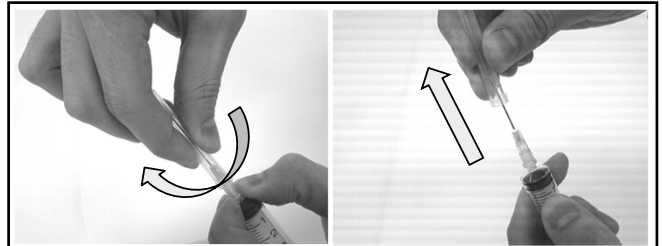


2



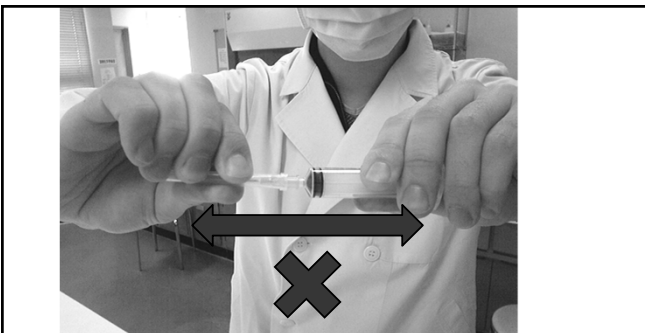
注射針を取り扱うので、自分および他人を傷つける事故を
起こさないよう細心の注意を払うこと。
注射器を袋から出す。
袋の中は清潔(殺菌処理が施されている)になっている。

3



注射針のキャップを取りはずす。
キャップと注射針の基部が外れにくい場合がある。
無理に引っ張ると危険。
キャップをねじるようにしてゆっくりと外す。

4



キャップを無理に引っ張ると
針先が自分の指や掌に刺さる危険あり。
キャップをねじるようにしてゆっくりと外す。
これを守らないと、高確率で、針刺し、流血事故が生じる。

5



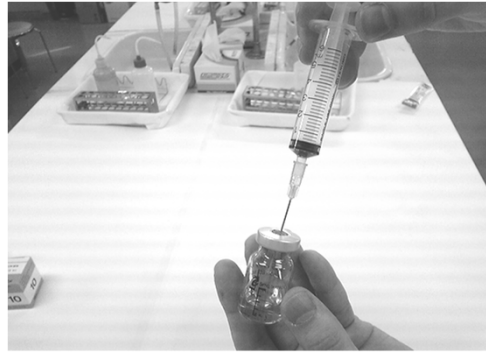
10ml生食入りバイアルのキャップをはずす。
キャップで覆われた個所は清潔処理が施されている
ので、指や掌に触れないように扱う。

6



バイアルのゴム部分に穿刺個所の印がある。
その個所に注射針を刺す。
バイアルの中は陰圧になっている。
注射器を引いて生食を1ml吸引する。
バイアル内の空気を引かないように注意。
バイアルを逆さにして吸引すると作業が容易になる。

7

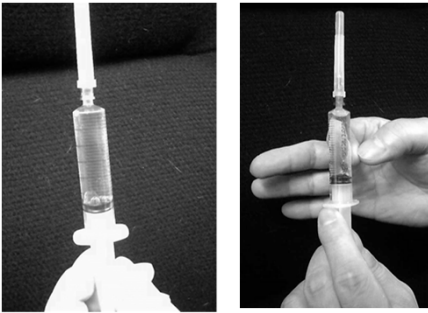


5mlの空バイアルに注射器内の生食1mlを入れる。
バイアルの中は陰圧になっている。
注射針を穿刺すると生食が吸引されることを確認する。

8

生食の水滴を机や手指に着けないよう注意する。
(放射能が入っていると仮定して操作して下さい)

注射器内の空気泡を抜く方法(正確な吸引量を)
指で注射筒(シリンジ)を弾く。



9

2.5ml、1ml注射器を使用して同様の操作を行う。
10mlバイアルから1ml生食を吸引し、
5mlバイアルに注入する。

5mlバイアル内が陽圧に
ならないように注意する。

陽圧のバイアルは危険。
(陽圧バイアルに針を刺すと
内容液が噴出する。)

陽圧になりそうな場合は
バイアル内の空気を吸引する。



10

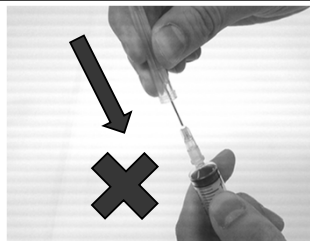
使用後の注射針の扱い

キャップをしない
(リキャップ禁止)

リキャップが針刺し事故の
原因になるので

医療現場ではリキャップ操作は禁止されている。

注射針、注射筒(シリンジ)は医療ごみとして扱う。
(一般ごみとして扱うことは禁止)



実験後のゴミの分別

可燃ごみ	紙
難燃ごみ	プラスチック(注射器の袋)
不燃ごみ	バイアル(ふた、ガラス瓶)

放射能汚染可燃ごみ
放射能汚染難燃ごみ
放射能汚染不燃ごみ

(今回の実習では生じない)

11

12